

緑のセンターだより

No.275 令和4年2月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

キンカン

ミカン科キンカン属 *Fortunella Swingle*

キンカン（金柑）は中国原産のミカン科キンカン属の常緑低木で、初めはミカン属 (*Citrus*) に分類されていましたが、1915年キンカン属 (*Fortunella*) として分割されました。ミカン属と大きな違いは葉脈が不明瞭であること、葉面にろう物質が含まれていること、果実が非常に小さく室数（袋）が少ないと、果実の表面はなめらかで皮に甘みがあることなどとされています。

日本ではニンポウキンカン (*F.clacssfolia* Swingle) ナガキンカン (*F.margarita* Swingle) が主に栽培されており、いずれも江戸時代に中国から日本に伝わりました。

花は単生または数花が集まります。年に3回ほど開花しますが、7月に開花した花が最も果実の品質、収量が良いと云われています。枝は細く密生し、若い枝に小さい棘が見られるものもあります。葉は互生し、長楕円形、肉厚で両端が尖っています。葉の表面には光沢があり、裏面には多くの油点が見られます。果実は皮に甘みと香氣があり、ビタミンCのほかB₁、B₂を豊富に含み、柑橘類の中では最も栄養価が高いと云われています。皮ごと生食しますが、かつては酸味が強く、その為当時は、生食としてよりも甘露煮や砂糖漬けなどに加工したものが殆どでした。

キンカンの栽培適地は温州ミカンの生産地とほぼ同じ地帯です。主な産地は宮崎県・鹿児島県・熊本県で宮崎県が全国の生産量の7割を占めています。宮崎県はブランド化された高級品種の「たまたま」を生産販売しています。「たまたま」は「ハウス栽培で、開花から210日以上かけて、樹上で完熟させたもの、糖度は16度以上で、果実の大きさは28mm以上のニンポウキンカンであること」とされています。鹿児島県も「春姫」、「いりき」など糖度、サイズともに「たまたま」と同様の品質のものを生産していますが、その生産量には大きな違いがあります。もちろん、「たまたま」は元宮崎県知事だった某氏の宣伝効果も大きいと思いますが、意表を衝いたこの命名に大きなインパクトがあるのでは?と思っています。

参考文献 園芸植物大辞典（小学館）

朝日百科世界の植物（朝日新聞社）



2月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00
★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
(月祝日の場合は、翌平日が休み)
※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付しておりません。

作業時期			作業内容
	上旬	中旬	下旬
屋外園芸	整枝剪定	落葉広葉樹は強剪定も可。モミジ、カエデ類、常緑樹は剪定しない。	
	雪害からの保護	暖気による圧雪、樹冠や枝に着雪している湿った雪は落とす。	
	剪定	サクラ、コブシ、モクレン、ハナカイドウなど、必要なら花芽を残して剪定する。過度の剪定は避ける。※3月下旬までに	
室内園芸	球根	保存状態の点検	ダリア(湿潤、5~8°C)、カンナ(湿潤、8~10°C)、グラジオラス・アマリリス・カラー(乾燥、3~5°C)、球根ベゴニア(乾燥ぎみ、バーミキュライトなどを軽く温らせたもの、3~5°C)
	野菜	保存野菜の確認	保管状態、鮮度、発芽状態など確認し、なるべく早めに食べきる。
	鉢花・観葉植物	水やり・施肥	表面が乾燥して2~3日後に、室温程度の水を与える。開花中の鉢花はやや多めに灌水し、液肥も与え続ける。受皿の水は捨てる。
		温度管理	開花中の鉢花は15~20°C。昼夜の温度差がある方が望ましい。温風を避ける。
		湿度	暖房のある部屋では加湿器、霧吹き、水を入れた容器や濡れタオルなどを近くに置く。
		病害虫防除	枝葉や鉢周りのベタつきはカイガラムシやアブラムシ等の虫害サイン。捕殺し、水洗い。
		花後の管理	花後は低温下に置き、休眠状態にして新芽の成長を抑える。
	洋ラン	温度管理	生育温度、高温性(コチョウラン、デンファレなど)は18~25°C、低温性(シンビジュムなど)は10~20°C。なお、カトレアは最低12~13°C以上を保つ。
		水やり・施肥	生育温度が保てる場合は乾いたら与える。保てない場合は極力控える。開花中、蕾の出ているものには多めに灌水し、肥料は与えない。
	植物肉	水やり	冬型種(リトープス、オトンナなど)は表土が乾いたらたっぷり灌水。夏型種、春秋型種(アロエ、エケベリア、クラッスラなど)は極力控える。
全般	置き場所	休眠しているもの以外は、窓辺などできるだけ日当たりの良い場所に置く。	



Q 家に取り込んだ鉢花の葉の表面がかすり状になったり、葉の付け根に白っぽい塊ができたり、葉の表面に水飴のような液体がついているものがあります。病気か虫が原因だと思うのですが、どのように対処すればよいでしょうか？

A 症状からすると、ダニ・カイガラムシ・アブラムシなどの害虫が原因と思われます。この時期に害虫が発生するのは、秋口に屋外から鉢を取り込んだときか、新しく購入した鉢に害虫や害虫の卵・幼虫が住み着いていたことが原因と思われます。特に秋口に鉢花を室内に取り込むときは葉茎に殺虫剤を散布し、鉢土には殺虫剤のスミチオンを1000倍に薄めた液の中にどぶ漬すると効果があります。

鉢花につく害虫で主なものは、ダニ・カイガラムシ・アブラムシの他にオンシツコナジラミやコバエなどがあります。前述のコバエ以外の害虫は、葉や茎から植物の液を吸う吸汁害虫ですので、販売されているスプレータイプの総合農薬(殺虫殺菌剤)が便利です。しかし、これらの害虫は卵から成虫までの一世代が1か月程と短く、1回だけの散布では再発します。また、これらの害虫は主に葉裏に生息しているので、そこを中心に散布します。散布した後の効果は10日~2週間程度ですので、2~3回/月散布しながら1~2か月様子をみます。また、害虫が発生した株だけではなく、室内にあるすべての鉢に散布するのが効果的です。

カイガラムシは、綿棒や濡らしたティッシュを使って柔らかく拭ってからスプレーを散布します。葉の表面がかすり状になるダニは殺虫剤に対して耐性がつきやすいのでダニ専用の殺虫剤と併用するか、温気に弱いので葉裏に水をかけるのも一定の効果があります。コバエの幼虫であるウジは、鉢土の腐葉土など腐ったものを餌にしているので、殺虫剤のスミチオンにどぶ漬します。

鉢花の病害虫は、鉢を混みあって置いたり、日光に当てないで軟弱に育てたり、肥料の与えすぎなどが原因で病害虫発生を助長します。まず第一に健全な株に育てることを心がけてください。

展示会・開花情報

(2022年2月～3月)



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568
地下鉄東豊線
「豊平公園」駅下車
1番出口徒歩1分



色と模様を楽しんで

豊平公園ではアートな葉もようが人気の「カラーリーフ展」を開催します。

なかでも幾何学的な葉もようが美しいカラテアは18品種。筆で描いたような葉もようを持つカラテア'マコヤナ'や斑入りのモンステラ、パキラなど、目に楽しいカラーリーフ約120鉢を展示致します。

カラーリーフ展
2/1 (火)～2/13 (日)



カラテア'マコヤナ'

アザレア展
2/15 (火)～2/27 (日)

明るく色鮮やかな「アザレア展」は約70品種をボリューム感たっぷりに展示します。毎年好評のアザレアの鉢苗の販売も致します。

お気に入りを見つけて春を先取りしませんか。

立春の候



百合が原公園

〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511
JR学園都市線
「百合が原」駅下車
徒歩7～10分

屋外は真っ白な銀世界ですが、暦の上では春が始まる時期でもあります。百合が原緑のセンターでは、アザレアやツバキといった美しい花々が一面に広がり、心華やぐ装いとなります！また、鮮やかな黄色い花を枝いっぱいに咲かせるミモザは、例年2月末から見頃を迎えます。

一足早い春の訪れをお楽しみください。

展示会情報

福寿草と雪割草展
～春を告げる雪国の妖精たち～
1/25 (火)～2/13 (日)

アザレア展
～道内最大級のコレクション～
2/8 (火)～2/27 (日)

ツバキ展
～古典園芸、道内最大級のコレクション～
2/22 (火)～3/21 (月祝)



イベント情報（2月～3月）



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
花の種まき実践教室	2月13日(日)	13:30～	1500円	20名	受付中
シンビジウムの植替えと管理	中止 2月19日(土)	13:30～	200円	20名	2/11(金)～



百合が原公園

☎ (011) 772-3511
<https://yuri-park.jp/>

【講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
ツバキの育て方	2月26日(土)	13:30～14:30	330円	20名	2/11(金)～
洋ランの育て方	3月5日(土)	13:00～14:30	130円	20名	2/11(金)～
レカンフラワーを使ったボールペン作り	3月13日(日)	10:30～12:00	1,500円	10名	2/11(金)～
レカンフラワーを使った立体フレーム作り	3月13日(日)	13:30～15:30	3,300円	10名	2/11(金)～



アザレア展 in 豊平公園



アザレア' 太陽'

アザレアは冬から早春にかけて楽しめる鉢花として、とても人気があります。豪華な花弁と鮮やかな色合いが特徴で、室内観賞用として日本や中国のツツジやサツキから改良されました。

展示会では、花色の変化がユニークな‘カメレオン’ など
ほとばしるような赤色の‘太陽’など
緑のセンターで育てたアザレア約70品種、約110鉢を
展示する予定です。



場所 豊平公園緑のセンター
期間 2月15日(火)～2月27日(日)

アザレア' カメレオン'

※新型コロナ感染拡大の影響により中止する場合があります。